

桜川試験通水結果

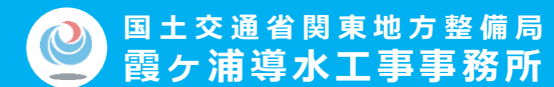
令和5年6月～9月の那珂川の水量が豊富な時に通水を実施しました。
通水日数は39日間で、通水量は合計約2,300千 m^3 でした（千波湖約6杯分に相当する水量です）。



那珂樋管から取水した那珂川河川水を、桜機場で桜川に放流します。
その水を桜川取水堰から取水し、月池を経由して千波湖に流れ込みます。

令和6年度 事業概要

つなごう輝く潤いの明日へ



霞ヶ浦導水事業は、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連結する地下トンネルによる流況調整河川を建設し、河川湖沼の水質浄化、既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進、水道及び工業用水の供給の確保を目的とした事業です。

霞ヶ浦導水路は、利根川水系における上流ダム群、中下流域の貯水池、湖沼開発、河口堰とあわせ、限られた水資源を有効に活用するため、那珂川・霞ヶ浦・利根川を結び那珂川水系もあわせた水のネットワークを形成するものです。



霞ヶ浦導水事業の目的

水質浄化

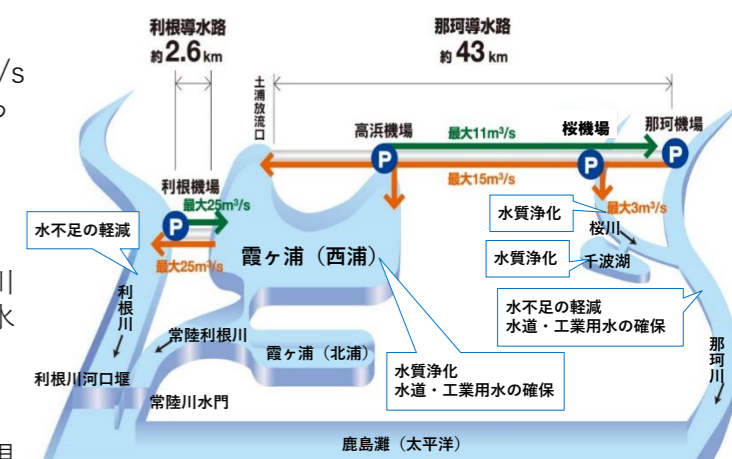
那珂川下流部から霞ヶ浦及び桜川へそれぞれ最大15 m^3/s 及び最大3 m^3/s を導水するとともに、利根川下流部から霞ヶ浦へ最大25 m^3/s を導水し、霞ヶ浦、桜川等の水質浄化を図ります。

流水の正常な機能の維持と増進（水不足の軽減）

霞ヶ浦から那珂川及び利根川にそれぞれ導水し、那珂川下流部及び利根川下流部における既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

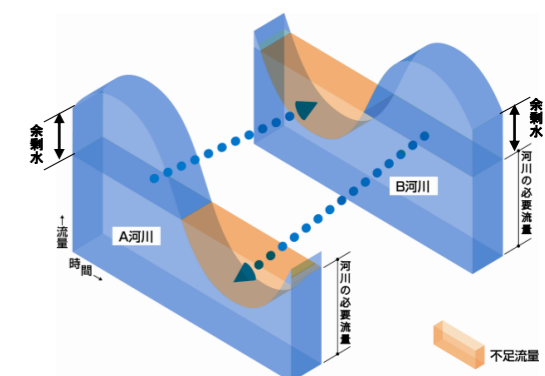
水道及び工業用水の供給の確保

茨城県、東京都、印旛郡市広域市町村圏事務組合の新規水道用水として最大5.548 m^3/s 、茨城県、千葉県の新規工業用水として最大1.774 m^3/s の供給の確保を図ります。



流況調整河川とは

流況（水量の季節的特性）が異なる2つ以上の河川を水路で結び、時期に応じて水量に余裕のある河川から不足している河川に水を移動させ、それぞれの河川の流況を改善するものです。これにより河川の必要流量の確保、水の有効活用を行います。



令和6年度の実施内容

当初予算：約197億円

【主な工事の実施内容】

昨年度に引き続き、石岡トンネル第3,4,5工区の工事を進捗させると共に、新たに高浜機場（第2機場）及びろ過設備工事に着手します。

【調査検討・維持管理等の内容】

- ・桜川試験通水
- ・モニタリング調査
- ・那珂川、利根川、霞ヶ浦、桜川の水理水文調査、環境調査
- ・那珂機場・桜機場・利根機場等の既存施設の維持補修等

試験通水時の千波湖と桜川の様子（令和5年）



■千波湖（湖内中央付近）のCOD
・1日最大12時間の通水で大幅に減少しました。



■桜川（搦手橋）のBOD
・1日最大12時間の通水で大幅に減少しました。



